

まほら

2024. 01 No. 09



新年あけましておめでとうございます！



年末年始はどのようにすごしましたか？
勉強をおろそかにしてしまった人は、その分
を取り戻せるように頑張ってください！

さて、お正月気分が抜けた今、あれが気になり
ませんか？そう、**正月太り**です。まほら館に
は、運動に関する素敵な本がたくさんあります。

この本を読んで、ぜひ**ダイエット**を試してみ
ましょう！



長友佑都体幹トレーニング 20
長友 佑都著 木場 克己監修
ベストセラーズ

プロトレーナー木場克己の
体幹バランスメソッド
木場 克己著
カンゼン



体幹を鍛えて
ポディー
理想の肉体に!!



まほら館では、1月限定で
おみくじをおいています。
あなたの今年の運勢を占っ
てみませんか？

面白かったのでPOPで紹介します！

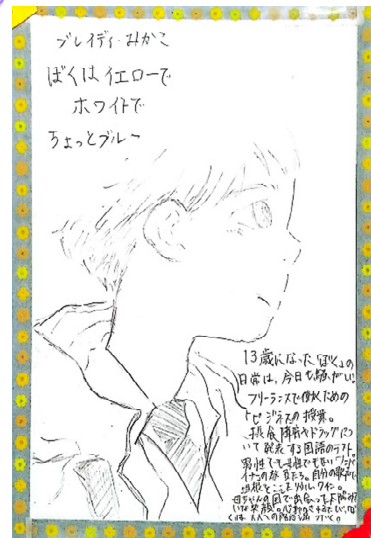
錦江湾高校図書館の推し本

前編

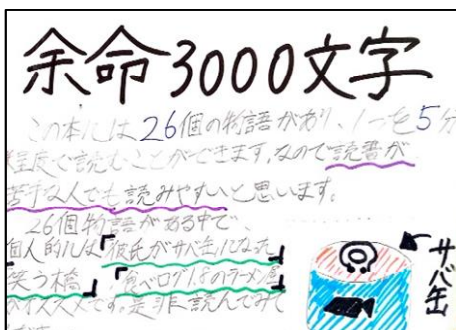
ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー

ブレイディみかこ著
新潮社

13歳になった「ぼく」の日常は、今日も騒がしい。
フリーランスで働くための「ビジネス」の授業。
摂食障害やドラッグについて発表する国語のテスト。
男性でも女性でもない「ノンバイナー」の教員たち。
自分の歌声で垣根をこえたリウル・ワイン。
母ちゃんの国で出会った太陽みたいな笑顔。
心動かされるたび、「ぼく」は大人への階段を上っていく。



余命3000文字



村崎 羯諦著
小学館

この本には26個の物語があり、1つを5分程度で読むことができます。なので読書が苦手な人でも読みやすいと思います。

26個、物語がある中で、個人的には「彼氏がサバ缶になった」「笑う橋」「食ベログ1.8のラーメン屋」がオススメです。是非読んでみてください。

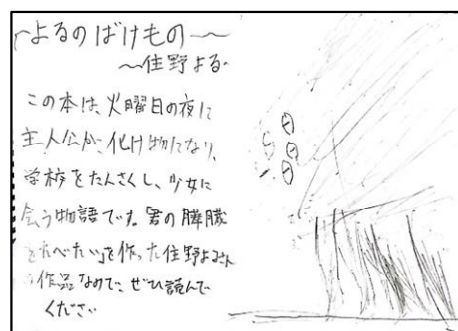


よるのばけもの

住野よる著
双葉社

この本は火曜日の夜に主人公が化け物になり、学校を探索し、少女に会う物語です。

『君の臓腑を食べたい。』を作った住野よるさんの作品なので、ぜひ読んでください。





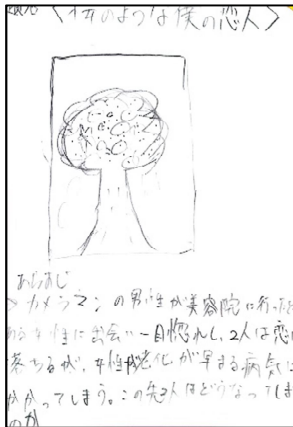
この冬いなくなる君へ

いぬじゅん著
ポプラ社

文具会社で働く 24 歳の井久田菜摘は、仕事もプライベートも充実せず、無気力になっていた。

ある夜、ひとり会社で残業をしていると火事に巻き込まれ、意識を失ってしまう。はっと気づくと篤生と名乗る謎の男が立っており、「この冬、君は死ぬ」と告げられて一。

ラストの衝撃と驚愕に切ない涙が温かい涙に変わる作品です。



桜のような僕の恋人

宇山 佳佑著
集英社

カメラマンの男性が美容院に行ったところ、ある女性に出会い一目惚れし、2人は恋に落ちるが、女性が老化が早まる病気にかかってしまう。

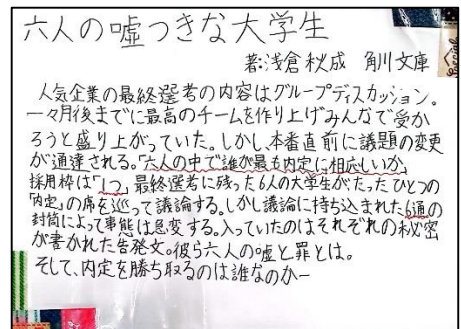
この先2人はどうになってしまうのか…。



六人の嘘つきな大学生

浅倉秋成著
KADOKAWA

人気企業の最終選考の内容はグループディスカッション。一ヶ月後までに最高のチームを作り上げ、みんな受かろうと盛り上がっていた。しかし、本番直前に議題の変更が通達される。「六人の中で誰が最も内定に相応しいか」。採用枠は「1つ」。最終選考に残った6人の大学生が、たったひとつの「内定」の席を巡って議論する。しかし議論に持ち込まれた6通の封筒によって事態は急変する。入っていたのはそれぞれの秘密が書かれた告発文。彼ら6人の嘘と罪とは。そして内定を勝ち取るのは誰なのか一。





The I Wonder Bookstore

Shinsuke Yoshitake 著
Chronicle Books

この本は『あるかしら書店』という少し変わった、**本を探している人々と店のおじさんの話**の英語版の本です。

この本は英語で書かれているため、楽しく英語の勉強ができて、日本語版もあるから、英語を翻訳して日本語版のほうで答え合わせをするといったこともできて、とても便利です。

まほら館にもおいてあるので、よかったら読んでみてください。



52 ヘルツのクジラたち



町田そのこ著
中央公論新社

たくさんの仲間がいるはずなのに、世界で一番孤独だと言われる「52 ヘルツのクジラ」。

52 ヘルツのクジラのような主人公と少年が出会い、成長する物語です。

誰の耳にも届かない声はいつか誰かに届く。だから、誰かに向けて声を出す。



そんな行動をしても良いんだと勇気をくれる本です。

52ヘルツのクジラたち 町田 そのこ

たくさんの仲間がいるはずなのに、**世界で一番孤独だと言われる「52ヘルツのクジラ」**。

52ヘルツのクジラのような主人公と少年が出会い、成長する物語です。

誰の耳にも届かない声はいつか誰かに届く。だから、誰かに向けて声を出す。そんな行動をしても良いんだと勇気をくれる本です。


星の王子さま

サン=テグジュペリ 著
新潮社 他

宇宙のどこかの星からやってきた小さな王子さまとの出会いで、**生きる上で大切なことを気付かせてくれるお話です!!**

ぜひ読んでみてください。

響く生き方のエッセンス作品です!!

